株式会社データスコープ ネットワークカメラ・操作マニュアル Ver.1.0



2021年9月



一目次一

1. はじめに	3
1.1 デバイス接続方法	3
1.1.1 有線ネットワーク接続	3
1.1.2 ワイヤレスネットワーク接続	3
1.2 IP アドレスの検索と変更	4
1.3 WAN 経由で IP カメラを設定する	7
1.3.1 静的 IP 接続	7
1.3.2 動的 IP 接続	8
2. デバイス登録	9
2.1 プラグインのインストール準備	9
2.2 ログインとログアウト	9
2.2.1 ログイン	9
2.2.2 初期パスワードの変更	10
2.2.3 パスワードを忘れた場合	11
2.2.4 ログアウト	12
2.3 プラグインのインストール	12
3.プレビュー	14
3.1 プレビュー画面	14
4. 再生	16
5.画像管理	19
6.設定	20
6.1 ローカル管理	20



6.2 システム	21
6.2.1 システム設定	21
6.2.2 定時再起動	25
6.2.3 操作ログ	25
6.2.4 セキュリティ管理	26
6.3 ストレージ	27
6.3.1 スケジュール設定	27
6.3.2 ストレージ管理	31
6.4 ネットワーク	35
6.4.1 基本設定	36
6.4.2 高機能設定	37
6.5 ビデオ	42
6.5.1 ビデオ	42
6.5.2 オーディオ	43
6.6 画像	44
6.6.1 画像	44
6.6.2OSD	46
6.7 イベント	47
6.7.1 一般イベント	47
6.7.2 スマートイベント	57



1. はじめに

ネットワークカメラ (※以下から IP カメラと記載)は、ビデオ録画、画像キャプチャ、イベント検知、エンコードと圧縮、ネットワーク送信などの複数の機能を統合したデジタル監視製品です。また、本書はネットワークカメラシリーズの共通の操作マニュアルとなり、ネットワークカメラの機能紹介と使用方法について詳しく説明しております。

1.1 デバイス接続方法

1.1.1 有線ネットワーク接続

IP カメラを設定する前に、IP カメラと設定用パソコン(PC)が接続されており、設定が必要な IP カメラにアクセスできることを確認してください。 下記 2 つの有線接続方法があります。

方法①は、下記の図 1-1 で示すように、ネットワークケーブル(LAN ケーブル)を使用して IP カメラをパソコンに直接接続する方法です。



方法②は、図1-2 で示すように、スイッチハブまたは Wi-Fi ルーターを介して IP カメラとパソコンを接続する方法です。

図 1-2 方法②



1.1.2 ワイヤレスネットワーク接続

一部の IP カメラでは、下記の図1-3 で示すように、パソコン間でのワイヤレスネットワーク送信を



サポートします。(詳しい機能は、各 IP カメラのネットワーク設定画面にてご確認ください)

図 1-3



1.2 IP アドレスの検索と変更

IP カメラにアクセスする手順は次のとおりです。

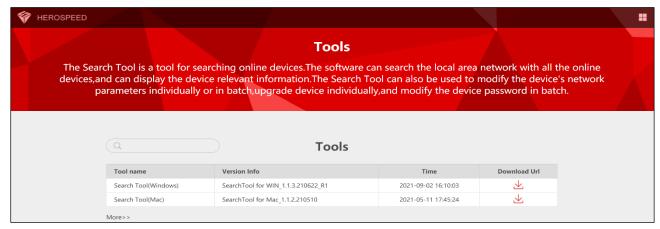
手順 1:まずは、弊社から別途案内する IP アドレス検索ツール(Search Tool) SearchTool.ico を 利用して、ローカルネットワークエリア内でオンライン中のすべての IP カメラを検索し、カメラ IP アドレス、MAC アドレス、バージョン、ポート、およびその他の情報から、該当する IP カメラを検索します。

※IP アドレス検索ツール(Search Tool)のダウンロード方法:

下記の URL から Windows 版の検索ツールをダウンロードし、ローカルパソコンにインストールしてください。(図 1-4)

http://www.herospeed.net/en/index.php?m=content&c=index&a=lists&catid=24

図 1-4



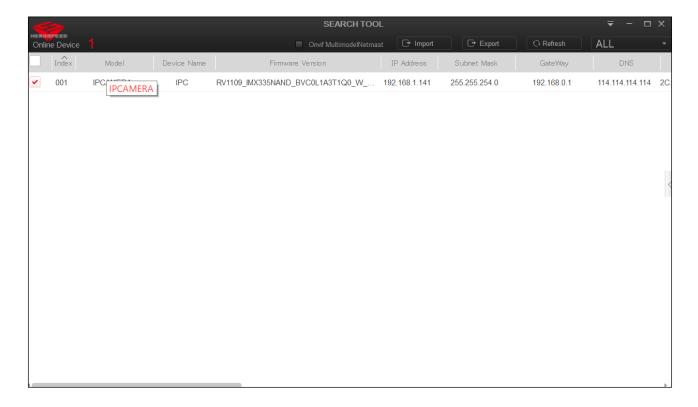




ダウンロード URL から、Windows 版の検索ツールをインストールすると、←左図のようにデスクトップには、「Search Tool」のアイコンが表示されます。

アイコンをダブルクリックすると、下記の図 1-5 のように ソフトウェアが起動され、自動的に同じローカルネットワー ク内にオンライン中の IP カメラを表示します。

図 1-5

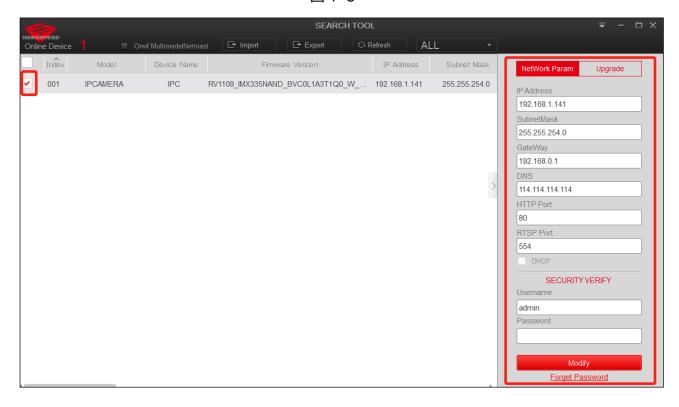


手順 2:該当する IP カメラにチェックを入れると、画面右側に設定画面が表示されます。

使用するネットワーク環境に応じて、右側の設定画面からカメラの IP アドレスとゲートウェイを変更したり、接続されているパソコンと同じネットワークセグメントに配置します。最後に、IP カメラのデフォルトパスワードを入力して、「変更」をクリックします。(図 1-6)



図 1-6



手順 3:アクセスしたい IP カメラをクリックすると、ブラウザが立ち上がり、下記のようにネットワークカメラのログイン画面が表示されます。デォルトログイン ID(admin)とパスワード(admin)を入力し、カメラにログインします。(図 1-7)

図 1-7





【補足説明】

- IP カメラの IP アドレスを設定する場合は、カメラ本体の IP アドレスと設定用パソコンの IP アドレスを同じネットワークセグメント内にあるように設定してください。
- IP カメラのデフォルト IP アドレスは「192.168.1.168」であり、ポート番号は「80」です。 デフォルトのログイン ID(管理者ユーザー名)とパスワードは「admin」です。また、初めてロ グインした後、セキュリティ安全のために、パスワードを「今すぐ変更」することを推奨しており ます。

1.3 WAN 経由で IP カメラを設定する

この部分では、静的 IP または動的 IP を使用して IP カメラを WAN に接続する方法を紹介します。

1.3.1 静的 IP 接続

接続前の準備:ISP(インターネットサービスプロバイダー)から静的 IP を取得します。

静的 IP アドレスを使用するか、またはスイッチハブを介して IP カメラに接続するか、あるいは直接 WAN に接続します。



図 1-8 【スイッチハブで IP カメラ接続イメージ図】

具体的な手順は以下の通りです:

手順 1:IP カメラをスイッチハブに接続します。

手順 2:LAN IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを IP カメラに割り当てます。

手順 3:静的 IP アドレスをスイッチハブに保存します。

手順 4:80/8000/554 ポートなどのポートマッピングを設定します。(※ポートマッピングの手順は、

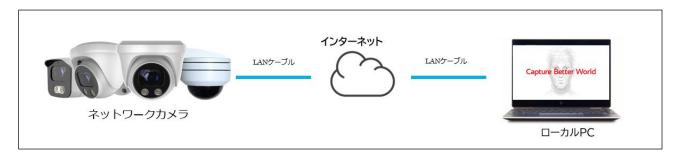
スイッチハブによって異なりますので、詳しくは、スイッチハブの製造元にお問い合わせください。)

手順 5: Web ブラウザまたはクライアントソフトウェアを介して IP カメラにアクセスします。

.



図 1-9 【静的 IP を介して IP カメラ直接接続イメージ図】



IP カメラを静的 IP に変更し、スイッチハブを介さずインターネットに直接接続します。

1.3.2 動的 IP 接続

接続前の準備:ISP(インターネットサービスプロバイダー)から動的 IP を取得します。 動的 IP アドレスを使用するか、またはスイッチハブを介して IP カメラに接続するか、あるいは直接 WAN に接続します。

【スイッチハブで IP カメラに接続】

具体的な手順は以下の通りです:

手順 1:IP カメラをスイッチハブに接続します。

手順 2:ローカル IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを IP カメラに割り当てます。

手順 3:スイッチハブで PPPoE ユーザー名、パスワードを設定し、パスワードを確認します。

手順 4:80/8000/554 ポートなどのポートマッピングを設定します。(※ポートマッピングの手順は、

スイッチハブによって異なりますので、詳しくは、スイッチハブの製造元にお問い合わせください。)

手順 5:ドメインプロバイダーからドメイン名を申請します。

手順 6:スイッチハブの設定画面にて DDNS 設定をします。

手順 7:ブラウザにてドメインから IP カメラにアクセスします。

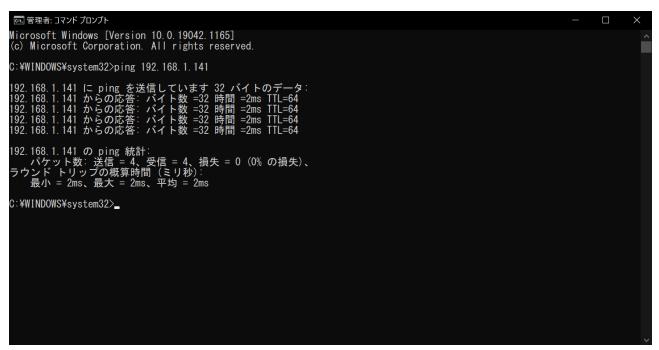


2. デバイス登録

2.1 プラグインのインストール準備

IP カメラが設定用のパソコンに接続され、IP カメラに電源が入っていることを確認できたら、コマンドプロンプトで IP カメラに ping を実行します。(注:IP カメラの IP アドレスは、ローカルネットワークエリア内で一意である必要があります)

IP カメラの IP アドレスが 192.168.1.168 の場合、ping 192.168.1.168 を実行します。 下記の図で示すように、応答がある場合は、ネットワーク接続が正常であることを意味するので、 IE(Internet Explorer)ブラウザで IP カメラのログイン画面を開き、IP カメラにログインします。 (例:ping 192.168.1.141 の場合)



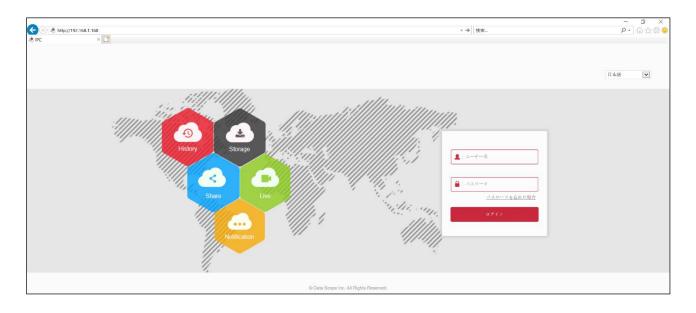
2.2 ログインとログアウト

<u>2.2.1 ログイン</u>

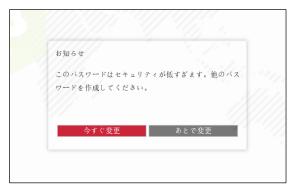
IE(Internet Explorer)ブラウザを開き、IP カメラの IP アドレスを入力します(IP カメラのデフォルトアドレスは http://192.168.1.168 です。)下記図ように IP カメラのログイン画面が表示されます。

そして、画面右上から表示言語を選択し、ログイン ID とパスワードを入力し、IP カメラにアクセスします。 (IP カメラのデフォルトログイン ID とパスワードは admin です。)





2.2.2 初期パスワードの変更



初めてログインすると、←左図のようにポップアップで「お知らせ」が表示されます。しばらくデフォルトログイン情報のままで使用する場合は「あとで変更」をクリックし、操作を続けてください。新しいパスワードを設定する場合は「今すぐ変更」をクリックします。

「今すぐ変更」をクリックした場合、下記の図で示すようにパスワード再設定画面が表示されます。ユーザー編集の必要項目をそれぞれ入力し、また、パスワードを忘れた場合の再設定方法としてセキュリティ認証問題も設定することを推奨しております。新たに設定したパスワードをセキュリティパスワードファイルとしてエクスポートし、最後に「保存」でパスワード再設定を終了します。





【補足説明】:

- 新しいパスワードは少なくとも8桁、文字と数字の両方を含める必要があります。
- デフォルトログイン ID とパスワードが「admin」の場合、ログインするたびにパスワード変更のお知らせメッセージが表示されます。「あとで変更」をすると、お知らせメッセージが 60 分後に再度ポップアップ表示されます。

2.2.3 パスワードを忘れた場合



ログイン画面にて「パスワードを忘れた場合」をクリックすると、パスワード再設定画面に入ります。



←左図のように「セキュリティ問題認証」と「セキュリティパスワード検証」の2つの方法から、パスワードを再設定できます。それぞれ、画面案内に沿ってパスワードを再設定してください。

【補足説明】:

- セキュリティ認証問題で再設定する場合、2 つの質問に対して正解を入力できたら、[新しいパスワードの設定]画面が表示され、次のパスワード再設定手順に進められます。
- 新しいパスワードは少なくとも8桁、文字と数字の両方を含める必要があります。
- 1 つのセキュリティパスワードファイルは、パスワードを忘れた場合に複数回使用してパスワード をリセットできます。



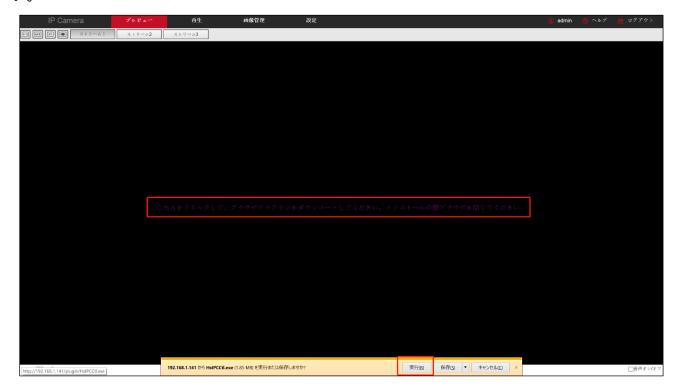
2.2.4 ログアウト



IP カメラのインターフェースの右上の「ログアウト」をクリックすることで、安全に終了できます。

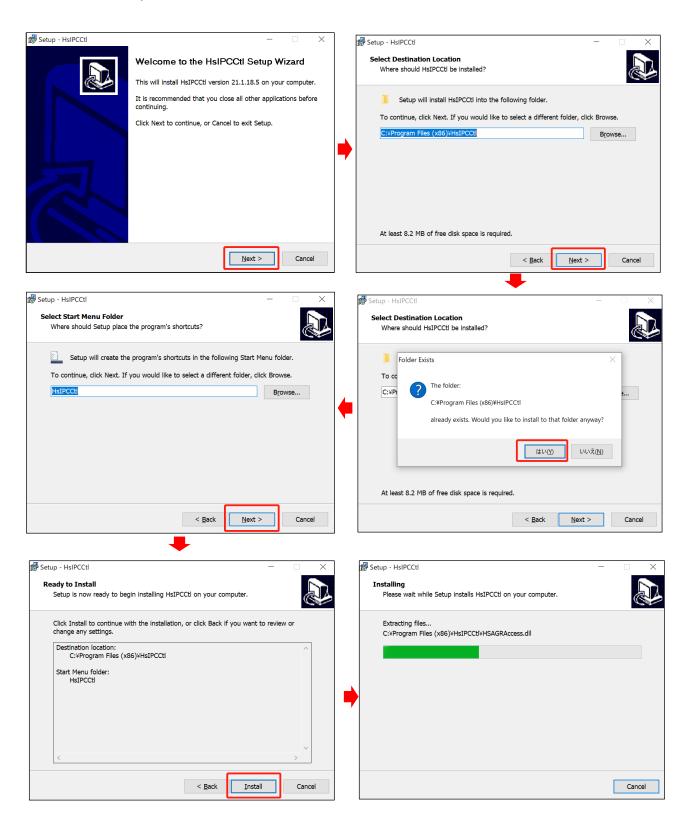
2.3 プラグインのインストール

・ IE(Internet Explorer)ブラウザを使用する場合は、ログイン後にプラグインをダウンロードし、インストールする必要があります。IP カメラが必要のプラグインは「HsWebPlugin」です。 下記の図で示すように、画面表示に従ってプラグインをダウンロード、及びインストールをしてください。





下記の画面表示に従い、すべて「Next」、「はい」をクリックし、インストールを完了してください。 最後に「Finish」と表示されたら、プラグインを正常にインストールできたことを意味します。 IE(Internet Explorer)ブラウザから再度ログインすると、プレビュー画面が表示されます。





3. プレビュー

3.1 プレビュー画面



IP Camera	プレビュー	再生	画像管理	設定	admin	② ヘルプ	🕒 ログアウト
■	ストリーム2	ストリーム3					
							□音声オン/オフ

項目名	説明
4:3	プレビュー画面は4:3の比率で表示されます。
XI	プレビュー画面はデフォルトサイズで表示されます。
16:9	プレビュー画面は16:9の比率で表示されます。
-	プレビュー画面はアダプティブ表示されます。
ストリーム1 ストリーム2 ストリーム3	ストリーム1:メインストリーム ストリーム2:サブストリーム ストリーム3:サードストリーム



	プレビュー画面のオン・オフ プレビュー画面の右下にある[▶]をクリックすると、プレビューモードが起動されます。プレビューモードでは、アイコンが[■]に変わります。アイコンをもう一度クリックすると、プレビューが停止します。
	手動録画のオン・オフ 「 D 」をクリックすると手動録画が開始され、録画ファイルはローカルパソコンに保存されます。手動録画モードがオンになると、アイコンが「 D 」に変わります。手動録画を停止するには、アイコンをもう一度クリックします。
	「 」アイコンをクリックすると、プレビュー画面がキャプチャされ、キャプチャ画像 をローカルパソコンに保存されます。
€ €	プレビュー画面の電子ズーム機能オン/オフ 「
□音声オンlオフ	プレビュー画面の音声をオン・オフ
Q Q	プレビュー画面のインターコム機能のオン/オフ 「♥」をクリックすることでインターコムがオンになります。機能がオンになるとアイコンが「♥」に変わります。音声インターコムを停止するには、アイコンをもう一度クリックします。



4. 再生

「再生」では、SDカードに保存された録画ファイルを読み取り、画面に表示します。画面右側のカレンダーから日付を指定して録画を検索/確認/ダウンロードできます。

また、録画ファイルの種類(通常の記録、アラーム記録)と録画時間に応じて検索でき、検索した録画ファイルを再生、キャプチャ、編集、ダウンロードできます。



項目名	説明
ビデオ検索	画面右側のカレンダーから日付を選択し(赤字日付はその日に録画ファイルがあることを意味します)、開始時刻/終了時刻、ファイルの種類「定時録画/動体検出/アラーム/動体検出とアラーム/スマートイベント」などを選択し、「◯」をクリックして検索すると、条件該当する録画ファイルが画面下側の時間軸に表示されます。
再生/停止	録画ファイルを検索した後、「 」ボタンをクリックすると動画が再生されます。再生中にはボンが「 」に変わり、クリックするとして動画再生が停止します。
スローモーション再生・早送り再生	動画再生中に、「◀」ボタンをクリックすると動画の再生速度が遅くなり、「 ↓ 」ボタンをクリックすると動画の再生速度が早くなります。現在の再生速度 については、画面右上の速度ステータスを確認してください。 1/2速度

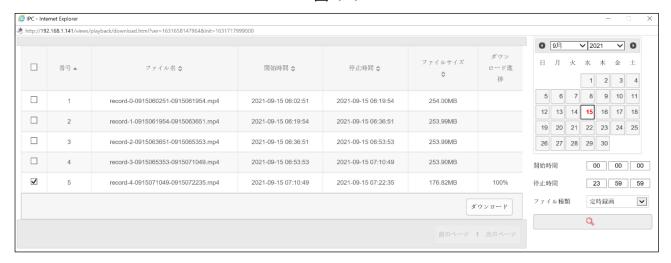


ドラッグ再生機能	画面下側の時間軸から再生する位置をマウスの左ボタンを押したまま、左右にドラッグし、再生したい時間帯に黄色線を合わます。「
電子ズーム	録画再生画面で「♥」をクリックすることで、電子ズーム機能がオンになります。機能がオンになるとボタンが「♥」に変わります。 録画再生画面中、マウスの左ボタンを押したままで電子ズームエリアを選択でき、拡大画面が表示されます。「♥」ボタンをもう一度クリックすると、拡大前の録画再生画面に戻ります。
スナップショット	録画再生中に「 「 」アイコンをクリックすると、現在の再生画面がキャプチャされます。正常にキャプチャされると、画面右下からポップアップでキャプチャ画像画像の保存場所が表示されます。 ※「設定」-「ローカル設定」-「画像ファイル設定」にて、事前に保存場所を指定する必要があります。
ビデオクリップ	録画再生中に「❤」ボタンをクリックすると、再生画面が録画されます。録画が開始されるとボタンが「❤」に変わり、再度クリックすると、録画が停止され画面右下からポップアップでクリップされた録画ファイルの保存場所が表示されます。 ※「設定」-「ローカル設定」-「画像ファイル設定」にて、事前に保存場所を指定する必要があります。
音声	録画ファイルに音声が含まれている場合は、録画再生中に「 ♥️ 」ボタンをクリックすると、録画ファイルの音声情報も再生されます。
時間軸拡大表示	画面右下にある[∰]ボタンをクリックすると、画面下側の時間軸が1目盛りあたり最大5分までズームインされます。
時間軸縮小表示	時間軸の表示を元の大きさに戻したい場合は、「〇」ボタンをクリックします。
ダウンロード	「し」」ボタンをクリックすると、下記の図4-1で示すようにダウンロードページが表示されます。ダウンロードしたいファイルにチェックをいれて「ダウンロード」をクリックすると、ダウンロードが開始され、ダウンロード進捗状況がパーセンテージで表示されます。 ※「設定」-「ローカル設定」-「録画ファイル設定」にて、事前に保存場所を指定する必要があります。

17



図 4-1



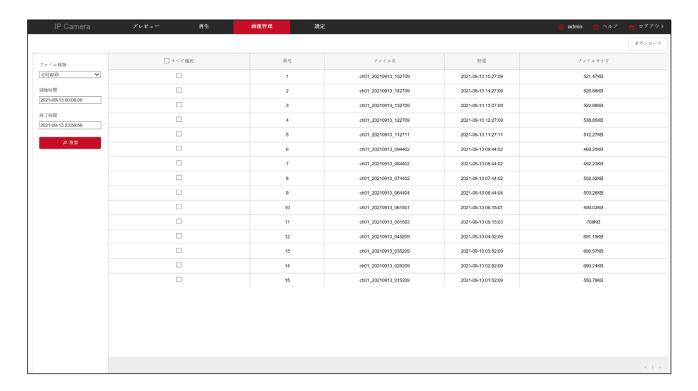
【補足説明】:

- SD カードスロットがないカメラには録画再生のインターフェースがありません。各 IP カメラの詳細機能をご確認ください。
- 録画ファイルを照会する前に、デバイスの SD カードのステータスが「使用中」であることをご確認ください。確認方法:「設定」-「ストレージ」-「ストレージ管理」-「ステータス」で確認
- すべての録画ファイルやキャプチャ画像の保存場所については、「設定」-「ローカル設定」から事前 に保存場所を指定する必要があります。
- 録画再生中に「ダウンロード」をクリックすると、再生が一時停止されます。



5. 画像管理

「画像管理」では、SDカードに保存されたキャプチャ画像を読み取り画面に表示します。



項目名	説明
画面検索	画面の左側からファイル種類「定時録画/動体検出/アラーム/動体検出とアラーム/スマートイベント」を選択し、開始時間と終了時間を指定して検索すると 条件該当するキャプチャ画像が表示されます。
ダウンロード	ダウンロードしたい画像にチェックをいれて、画面右上の「ダウンロード」をクリックすると、キャプチャ画像がローカルパソコンに保存されます。



6. 設定

「設定」では、IP カメラに対してシステム設定とメンテナンスを行います。「ローカル管理」、「システム設定」「ストレージ管理」「ネットワーク設定」「ビデオ&オーディオ設定」「画像 OSD 調整」「イベント設定」で構成されております。詳しい設定方法は、各部分にてそれぞれ説明します。

6.1 ローカル管理



項目名	説明
録画ファイル 保存場所	録画ファイルの保存場所を指定できます。
録画再生保存場所	「再生」で、ビデオクリップした録画ファイルの保存場所を指定できます。
プレビューキャプチャ 保存場所	「プレビュー画面」にてキャプチャした画像の保存場所を指定できます。
再生キャプチャ 保存場所	「再生」にて画面キャプチャした画像の保存場所を指定できます。
エクスポートファイル 保存場所	デバイス設定のパラメータ情報を保存場所にエクスポートできます。
インポートファイル 保存場所	デバイス設定のパラメータ情報を指定したフォルダからインポートできます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



6.2 システム

システムは「デバイス情報」、「時間設定」、「夏時間」「システムメンテナンス」で構成されております。

6.2.1 システム設定

【デバイス情報】



項目名	説明
デバイス名	デバイス名が表示されます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョン情報が表示されます。
ソフトウェアバージョン	プラグインのバージョン情報が表示されます。
WEB バージョン	ブラウザのバージョン情報が表示されます。
チャンネル	デバイスのチャンネル数、デフォルトで1です。



【時間設定】



項目名	説明
時間帯	使用する国に応じて設定します。日本国内で使用する場合は「GMT+09:00」と設定してください。
デバイス時間	デバイスの時間情報が表示されます。
NTP 設定	NTP サーバー利用される場合はチェックを入れてください。 ※NTP サーバーを利用される場合は本機を NTP サーバーにアクセス出来 る環境に設置いただく必要があります。
SNTP サーバー	SNTP サーバーアドレスです。「time.windows.com」「time.nist、gov」、「time-nw.nist.gov」、「time-a.nist.gov」、「time-b.nist.gov」から選択できます。また、「カスタマイズ」から SNTP サーバーアドレスをカスタマイズで入力するとも可能です。
NTP 自動時間	オンにすると、デバイスは設定した「時間間隔」で SNTP サーバーと自動的に 時間チェックを行います。
時間間隔	SNTP サーバーと時刻同期を行う間隔を設定できます。 デフォルトは 1 分となり、設定範囲は「1~10080」です。
手動設定	デバイスの時間情報を手動で設定できます。
PC と同期する	チェックを入れると、デバイスは現在接続されているローカルパソコンの時間 に同期されます。
NVR からデバイス への時間同期を禁 止	チェックを入れると、デバイス時間情報は NVR など外部ストレジデバイス)から時間設定や同期の影響を受けません。完全に独立したデバイスとして実行されます。



【夏時間】

「夏時間を有効にする」にチェックをいれて、夏時間の開始時間、終了時間、およびオフセット時間を設定できます。(注:特別な使用場面ではなければ、オフにするとを推奨しております)



【補足説明】:

「夏時間」はサマータイムともいいます。中高緯度地帯では、冬季は日の出時刻が遅く日の入り時刻が早い。これに比べて夏季は日の出時刻は早まり日の入り時刻は逆に遅くなるます。

例えば東京の例では、1月初旬の日の出、日の入り時刻がだいたい 6 時 16 分、17 時 17 分であるのに対して、6 月中旬は 3 時 46 分、19 時 36 分となっていて、夏季は冬季に比べて日の出・日の入り時刻がそれぞれ前後に約 2 時間半もシフトします。

そこで夏季に限り通常の標準時をちょうど 1 時間進めた時刻を用いて,仕事の能率を高め,余暇を 有効に利用しようというねらいで生まれたのがこの夏時間です。



【システムメンテナンス】



項目名	説明
システム再起動	「実行」をクリックするとデバイスが再起動します。
デバイスパラメータ	「実行」をクリックすると、ネットワーク設定関連のパラメータを除いて、デバ
のみ戻す	イス他のパラメータが自動的に工場出荷設定に戻されます。
デバイスパラメータ	「実行」をクリックすると、デバイスのすべてのパラメータ設定が自動的に工場
を工場出荷設定に	出荷設定に戻されます。
完全に戻す	
ファームウェア	ファームウェアファイルをインポートし、システムを最新バージョンヘアップグ
	レードします。
ダウンロード進捗	ファームウェアのダウンロード進捗状況がパーセンテージで表示されます。

【補足説明】

- ファームウェアアップグレード中には絶対に電源を切らないでください。アップグレードが全て完了するまでお待ちください。
- 間違ったファームウェアファイルをインポートすると、デバイスが故障になる原因となりますので、 十分ご注意ください。



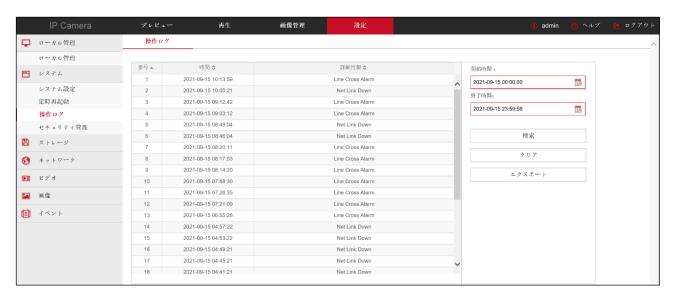
6.2.2 定時再起動



項目名	説明
定時再起動	デバイスの再起動周期を設定できます。「しない/毎日/毎週/毎月」から選択
	できます。

6.2.3 操作ログ

「操作ログ」では、デバイスに対するシステム操作履歴を検索できます。



項目名	説明
検索	開始時間と終了時間を設定し、「検索」をクリックすると、画面左側のログリストに該当する操作ログが表示されます。
クリア	クリックすると、すべての操作ログが削除されます。



エクスポート	クリックすると、リストに表示された操作ログを ZIP ファイルでエクスポート
	できます。

6.2.4 セキュリティ管理

「セキュリティ管理」では、現在のユーザー情報を照会することができます。また、他にユーザー情報の確認/追加/編集/削除ができます。最大 10 人のユーザーを作成できます。



【補足説明】:

- IP カメラのデフォルトのユーザー名は admin です。このユーザー名を変更または削除できません。
- ユーザー権限の説明:

管理者:すべての権限

オペレーター:すべての権限(※システムセキュリティパラメーターを設定できません)

ゲスト:プレビュー権限のみ

- IP カメラのパスワードを設定する場合、パスワードの長さは8~31文字で、数字と文字を含める 必要があります。
- パスワード強度レベルは次のとおりです:
 - -設定したパスワードに 3 種類以上(数字、小文字、大文字、特殊文字)が含まれている場合、 高レベルパスワードになります。
 - -設定したパスワードが数字と特殊文字、小文字と特殊文字、大文字と特殊文字、小文字、大文字 の組み合わせの場合、中レベルのパスワードになります。
 - -設定したパスワードが数字と小文字の組み合わせ、または数字と大文字の組み合わせの場合、弱 いパスワードになります。
 - -パスワードの長さが 8 桁である/パスワードに 1 種類の文字しかない/パスワードがユーザー名 と同じである/パスワードがユーザー名の逆パターンである、などこれらのパスワードはセキュリティ上、危険なパスワードになるため、設定することはお勧めしません。プライバシーを保護と、セキュリティを向上させるために、高レベルのパスワードに変更することを推奨しております。



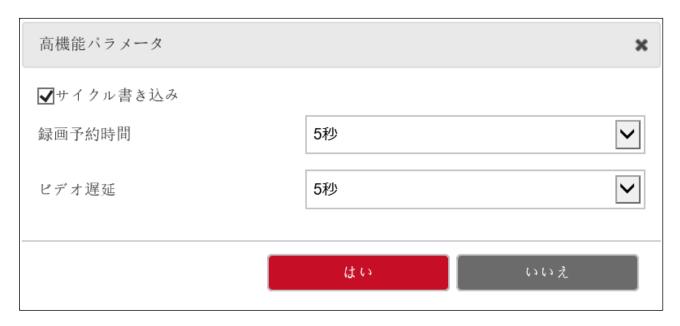
6.3 ストレージ

6.3.1 スケジュール設定

IP カメラの録画モードをオンにできます。下記のように時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとに録画タイプを設定し、録画スケジュールを編集できます。録画タイプは色で区別しております。

【録画プラン】







項目名	説明
録画を有効にする	チェックを入れると、IP カメラの録画モードが開始されます。録画ファイルは SD カードに保存されます。
ストリームタイプ	ストリームタイプを選択できます。 ストリーム1(メインストリーム)/ストリーム2(サブストリーム)/ストリーム3(サードストリーム)で構成されております。
録画タイプ	録画するタイプを選択できます。定時録画/動体検出/アラーム/アラームと動体検出/スマートイベントで構成されております。
すべてを選択	クリックすると、「録画タイプ」で選択した構成により、全ての曜日に 24 時間 録画モードが適用されます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日から録画モードが解除されます。
高機能パラメータ	録画予約時間(しない、10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、30 秒)と ビデオ遅延時間(5 秒、10 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分)を設定でき ます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

【補足説明】:

- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大 6 つの時間帯を設定できます。録画タイプも組み合わせることも可能です。
- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一 括同期することも可能です。
- 「すべてを選択」をクリックすると、24時間録画モードが全ての曜日に適用されます。
- SD カード録画モード機能を備えた IP カメラのみ「スケジュール設定」が表示されます。詳しくは 実際の IP カメラ機能をご確認ください。
- 「録画タイプ」で動体検出/アラーム/アラームち動体検出/スマートイベントのいずれかを選択した場合、選択された録画モードで録画すると同時に 24 時間定時録画も行われます。
- 「録画予約時間」と「ビデオ遅延時間」は、動体検出/アラーム/アラームと動体検出/スマートイベントの録画時に使用できます。



【スクリーンショット】-【キャプチャプラン】



項目名	説明
すべてを選択	クリックすることで、「キャプチャ・パラメータ」で選択された構成により、全て
	の曜日に 24 時間キャプチャモードが適用されます。
	また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにキャプチ
	ャスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日から録画モードが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

【補足説明】:

- 「キャプチャプラン」-「すべてを選択」では24時間定時録画モードしか対応しておりません。
- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一 括同期することも可能です。



【スクリーンショット】-【キャプチャ・パラメータ】



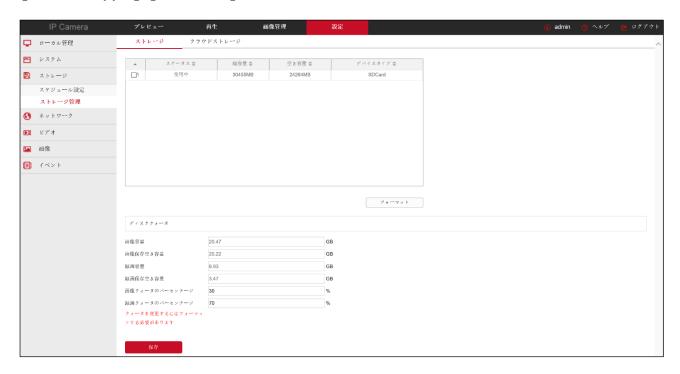
項目名	説明
画像フォーマット	キャプチャ画像のフォーマットは JPEG をサポートしております。
解像度	解像度は 1920×1080P と 1280×720P をサポートしております。
画質	キャプチャ画像の画質を低/中/高レベルから選択できます。
定時キャプチャ機能 を有効にする	チェックを入れると、定時録画モードでのキャプチャ機能が有効になります。
間隔時間	キャプチャ間隔時間を設定できます。※値は空にできません。また文字入力はできません。
イベントキャプチャ モードを有効にす る	チェックを入れると、イベント録画モードでのキャプチャ機能が有効になります。
間隔時間	キャプチャ間隔時間を設定できます。※値は空にできません。また文字入力はできません。
キャプチャ数	キャプチャ枚数を設定範囲は 1~30 枚から入力できます。※値は空にできません。また文字入力はできません。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



6.3.2 ストレージ管理

「ストレージ管理」では、IP カメラ本体に入れている SD カード情報を確認、及び設定ができます。 (※SD カードが入っていないと、下記リスト内に SD カード情報が表示されません。)

【ストレージ管理】-【ストレージ】



項目名	説明
フォーマット	選択した SD カードをフォーマットできます。また、画像/録画保存クォータを 設定するには SD カードをフォーマットする必要があります。
画像容量	画像を保存できる総容量です。
画像保存空き容量	画像を保存できる空き容量です。
録画容量	録画を保存できる総容量です。
録画保存空き容量	録画を保存できる空き容量です。
画像クオーターのパ	IP カメラに入れた SD カード総容量の中で、何%を画像保存に割り当てるか
ーセンテージ	を設定できます。(例:画像を 40%の場合、録画は 60%になります。)
録画クオーターのパ	IP カメラに入れた SD カード総容量の中で、何%を録画保存に割り当てるか
ーセンテージ	を設定できます。(例:録画を 70%の場合、画像は 30%になります。)
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

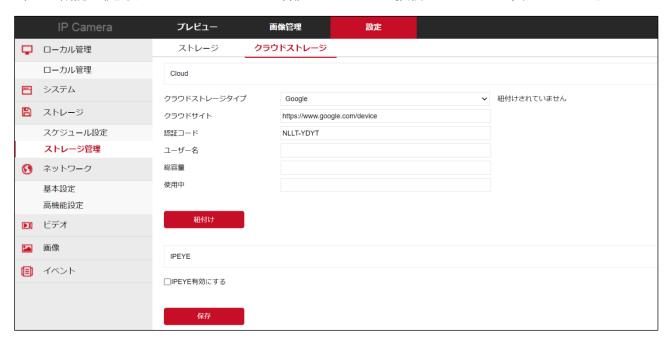


【ストレージ管理】-【クラウドストレージ】

この部分では、クラウドストレージについて設定できます。IP カメラが何らかのイベントによりトリガーされると、キャプチャ画像をクラウドサーバーに保存できます。

設定する前提条件は以下の通りです。

- 1)Google または Dropbox のクラウドストレージアカウントが必要です。
- 2)この機能を使用するには、IP カメラが外部ネットワークに接続されている必要があります。



項目名	説明
クラウドストレージタイプ	ストレージタイプは Google/Drobox から選択できます。 選択すると、クラウドサイトと認証コードが自動的に表示されます。
クラウドサイト	ストレージタイプが Google の場合: https://www.google.com/device
	ストレージタイプが Drobox の場合: https://www.dropbox.com/oauth2/authorize? client_id=4uimvlijwfm7r5w&response_type=code
認証コード	「ストレージタイプ」を選択すると該当する認証コードが表示されます。WEB ブラウザにてクラウドサイトを開き、この認証コード入力します。 例:Google を選択した場合、「NLLT-YDYT」が自動的に表示されます。
ユーザー名	クラウドストレージに正常に紐付けされた場合にユーザー名が自動 的に表示されます。



総容量	クラウドストレージに正常に紐付けされた場合にストレージ容量が 表示されます。
使用中	クラウドストレージに正常に紐付けされた場合にストレージ使用中 の容量が表示されます。
紐付け	設定項目を入力し、IP カメラをクラウドストレージに紐付けします。
	※クラウドストレージを設定完了後、「紐付け」をクリックし、一回ペ
	ージから離れて再度戻ると、ユーザー名/総容量/使用中などのアカ
	ウント情報が表示されます。
IPEYE	※こちらの機能は現在サポートしておりませんので、本書では説明
	を割愛します。

【補足説明】:

下記からクラウドストレージの設定方法を説明します。また、Google クラウドストレージを設定例として挙げられております。



手順① IP カメラが外部ネットワークに接続されている状態で、IP カメラの「クラウドストレージタイプ」-「Google」を選択すると、自動的にクラウドサイトと認証コードが表示されます。

ブラウザで表示された URL を開くと、左図のように認証 コードが入力できます。

クラウドサイト URL:

https://www.google.com/device

認証コード:

表示された任意の認証コード





手順② すでに Google アカウントをお持ちの場合、リストから 該当するアカウントを選択します。



手順③ 左図のような画面が表示されると、「許可」をクリックし、 デバイスを Google アカウントへのアクセスを許可します。



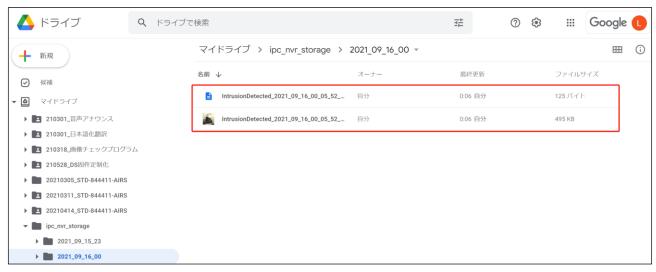
手順④ Google アカウントと正常に接続されると左図のように「デバイスを接続しました」というポップアップ画面が表示されます。





手順⑤ Google アカウントにアクセスできるアプリリストに IP カメラも登録されていることが確認できます。

手順⑥ IP カメラが Google クラウドストレージと正常に紐付けられ、また IP カメラの「イベント」に て各トリガー条件を設定し、「連動方法」にて「クラウドアップロード」にチェックを入れると、何らかのイ ベントが発生した際に、キャプチャ画面とテキスト情報を Google クラウドストレージへ送信します。 (送信イメージ図↓)





6.4 ネットワーク

6.4.1 基本設定

【基本設定】-【TCP/IP】



項目名	説明
DHCP を使用する	IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。 ※チェックを入れるとその他の項目は設定出来なくなります。
IP アドレス	デバイスの IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	デバイスの IPv4 サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウ	デバイスの IPv4 デフォルトゲートウェイを設定します。
エイ	
デバイス MAC	デバイスの MAC アドレスが表示されています。
DNS サーバー	デバイスの優先 DNS サーバードレスを設定します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

【基本設定】-【ポート】





項目名	説明
HTTP ポート	デフォルトの HTTP ポートは(80)
RTSP ポート	デフォルトの RTSP ポートは(554)
HTTPS ポート	デフォルトの HTTPS ポートは(443)
BITVISION ポート	デフォルトの BITVISION ポートは(6000) BitVision アプリに直接デバイスを追加する場合、内部の「プライベートプロトコルポート」にこちら BITVISION ポート番号を入力する必要があります。
ONVIF プロトコル ポート	デフォルトの ONVIF ポートは(8999) IP カメラが ONVIF プロトコルに準拠する外部記録装置(NVR など)に接続される場合、ONVIF プロトコルを有効にする必要があります ONVIF プロトコルはデフォルトで有効になっています。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

<u>6.4.2 高機能設定</u> 【DDNS】



項目名	説明
DDNS	DDNS 機能オン/オフ
DDNS タイプ	peanutShells/NO-IP/Dyn 3 タイプから選択できます。
ドメイン名	DDNS タイプに対応するドメイン名を入力します。プロバイダーのサーバーのアドレスです。
DDNS アカウント	DDNS タイプに対応するアカウントを入力します。
DDNS パスワード	DDNS タイプに対応するパスワードを入力します。
パスワード確認	再確認パスワードを入力します。



ステータス	デバイスが正常に DDNS 設定されたかを表示されます。
サービスタイプ	ユーザー名のタイプを表示します。
サービスプロバイダ ーへ接続	サービスプロバイダー情報を表示します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

[FTP]

FTP サーバー(ファイル転送プロトコル)を設定すると、FTP サーバーにキャプチャ画像を保存できます。

前提条件:

FTP サービスツールを購入、またはダウンロードして、PC にソフトウェアをインストールする必要があります。また、作成した FTP ユーザーは、FTP フォルダーへの書き込み権限を設定する必要があります。書き込み権限を設定しない場合、画像が正常にアップロードされません。



項目名	説明
FTP サーバー	FTP サーバーのアドレスを入力します。
テスト	FTP サーバー情報を入力後、「テスト」をクリックして、すべての入力情報が
	正しいか、デバイスとサーバーが正常に接続されているかを確認します。
ポート	FTP サーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	FTP サーバーのパスワードを入力します。
パスワード確認	再確認パスワードを入力します。
保存場所	FTP ストレージパスにデフォルトフォルダが自動的に作成されます。
自動上書き	FTP サーバー自動上書き機能をオン/オフできます。FTP サーバーの空き
	容量がなくなると、FTP サーバー上の最も古いファイルが自動的に上書き



	されます。
FTP をアップロード	FTP ファイル形式を選択します。現在選択できる画像形式は JPEG 形式です。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

[SMTP]



項目名	説明
送信アドレス	メール送信元として表示されるアドレスを入力します。
SMTP サーバー	メール送信に使用する SMTP サーバーのアドレスを入力します。
ポート	SMTP サーバーが使用するポート番号を入力します。
SMTP をアップロード	送信するファイル形式を JEPG と MESSAGE から選択できます。
サーバー認証有効化	チェックを入れると、システムはサーバーとユーザーを認証して、データ
	が正しいクライアントとサーバーに送信されていることを確認します。
ユーザー名	SMTP サーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	SMTP サーバーのパスワードを入力します。
パスワード確認	再確認パスワードを入力します。
受信アドレス 1~3	受信先メールアドレスを 3 件まで入力します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



[P2P]



項目名	説明
BITVISON	※こちらの機能は現在サポートしておりませんので、本書では説明を割愛し
	ます。

【その他】



項目名	説明
ビデオパスワード認 証を有効にする	チェックを入れると、ビデオに接続されているすべてのデバイスとプラットフォームを暗号化します。正しいユーザー名とパスワード認証を入力して、IPカ
	メラビデオに接続します。
RTSP 暗号化を有 効にする	チェックを入れると、カメラの RTSP ストリームを暗号化します。
BITVISION 暗号 化を有効にする	チェックを入れると、IP カメラと BitVision アプリ間のストリームが暗号化 されます。



[PPPOE]

PPPOE(Point-to-Point Protocol over Ethernet)は、IP カメラがネットワークにアクセスする方法の 1 つです。インターネットサービスプロバイダーから提供された PPPOE ユーザー名とパスワードを取得した後、PPPOE ダイヤルアップ方式でネットワーク接続を確立できます。正常に接続されると、IP カメラは WAN の動的 IP アドレスを自動的に取得します。



項目名	説明
PPPOE	PPPOE 機能を有効にします。
デバイスのダイナミック IP	設定が完了すると、再起動後にデバイスが自動的にダイヤルします。 ダイヤルが成功すると、ネットワーク情報がデバイスのダイナミック IP に表示され、ユーザーは IP アドレスを介してデバイスにアクセスでき ます。
ユーザー名	ISP(インターネットサービスプロバイダー)から提供された PPPOE ユーザー名。
パスワード	インターネットサービスプロバイダーから提供されたユーザー名に対 応するパスワード。
パスワード確認	再確認パスワードを入力
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



<u>6.5 ビデオ</u>

<u>6.5.1 ビデオ</u>



項目名	説明
ストリームタイプ	ストリームタイプを選択し、各ストリームの構成を設定できます。 現在は以下の3つのタイプがあります。 ストリーム1(メインストリーム)/ストリーム2(サブストリーム)/ ストリーム3(サードストリーム)
Profile	Profile のタイプを MainProfile/BaselineProfile/HighProfile から選択できます。デフォルトでは MainProfile となっております。
ビデオエンコーディ ング	現在サポートされているビデオエンコーディングモードは: H.264/H.265/MJEPG
解像度	現在の出力中のストリームの解像度を選択できます。 以下の4つのタイプがあります。 2592×1944/2560×1440P/1920×1080 P/1280×720P
フレームレート	現在の出力中のビデオフレームレートを設定できます。設定範囲は 1~25fps です。
ビットレート	ビットレートのサポート範囲は 64-12000kbps です。
可変(固定)ビットレート	ビットレート出力モードを切り替えます。固定ビットレートと可変ビットレート から選択できます。
フレーム間隔	IP カメラのキーフレームを収集する時間間隔。設定範囲は 1~5 秒です。
H264+	カメラのエンコーディングモード H264 +をオン/オフできます。
ウォータマーク	ウォータマーク機能のオン/オフ オンにすると、録画ファイルの改ざんを防ぐことができます。「ウォータマー



	ク内容」を設定後、「HSPlayer」プレーヤーを使用して、録画ファイルの改 ざんチェックをできます。
ウォータマーク内容	ローカル PC に保存された録画ファイルのウォータマークチェックをする際
	の、チェック文言を任意で編集できます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

【補足説明】:

- IP カメラタイプによって、ストリームタイプ、エンコード方法、フレームレート、およびその他のドロップダウンメニュー情報も異なります。
- フレームレートを低く設定しすぎると、動画がフリーズする恐れがありますので、ご注意ください。
- ビットレートが高いほど、ネットワーク帯域幅が大きくなり、伝送圧力が高くなります。
- H264+/H265+をサポートする IP カメラのみ、「ビデオエンコーディング」モードに H264+/ H265+のオン/オフの設定ができます。
- H265+/H264+のオン/オフを切り替えるには、30~60 秒程かかります。

6.5.2 オーディオ



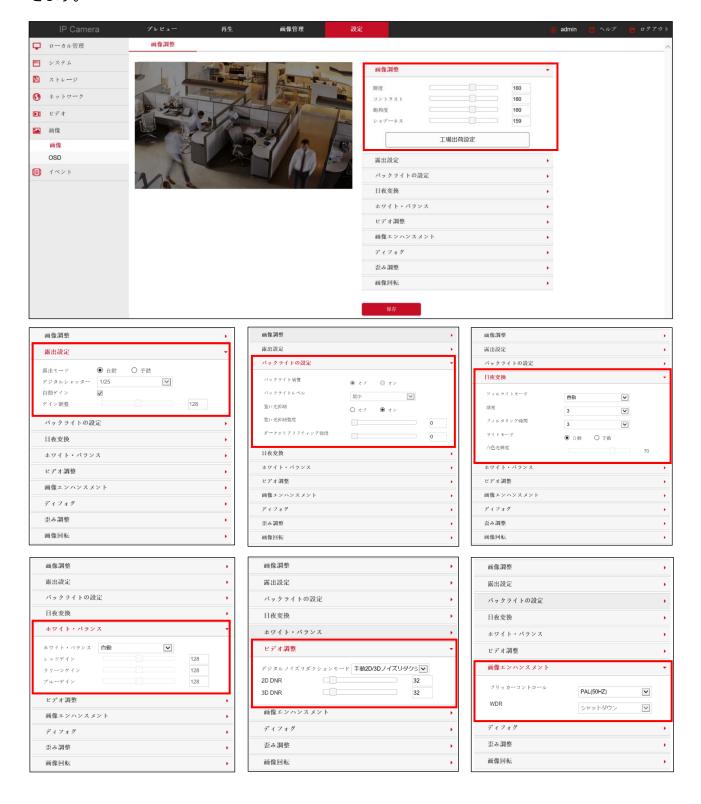
項目名	説明
オーディオを有効に	デバイス音声入力のオン/オフを切り替えます。
する	
オーディオ入力	オーディオ入力モードを選択します。
	デフォルトでは「マイク入力」となっております。
オーディオエンコード	オーディオエンコード方式を選択できます。
	G711U/G711A/AAC から選択できます。
入力音量	入力音量を設定します。設定範囲は 0~100 です。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



6.6 画像

6.6.1 画像

「画像」では、画像調整、露出設定、バックライト設定、日夜変更、ホワイトバランス、ビデオ調整、画像エンハンスメント、ディフォグ、歪み調整、画像回転など、IP カメラの画像関連のパラメーターを調整できます。











項目名	説明
画像調整	輝度、コントラスト、飽和度、シャプーネスの調整が可能です。
露出設定	露出モード(自動/手動)、デジタルシャッター、自動ゲイン、ゲイン調整が可
	能です。
バックライト設定	バックライト補償(オン/オフ)、バックライトレベル、強い光抑制、強い光抑制
	強度、ダークエリアリフティング強度(暗部補償)の調整が可能です。
	※デフォルトはオフです。
日夜変更	フィルライトモード(自動/昼間/夜間/定時録画)、感度、フィルタリング時
	間、ライトモード(自動/手動)、白色光輝度の調整が可能です。
	※フィルライトモードが「自動」の場合、カメラはは実際の環境に応じてフィ
	ルライトをオンにします。フィルライトモードが「定時録画」の場合、日の出時
	間と日の入り時間(フィルライト開始時間と終了時間)と白色光輝度の設定
	が可能です。
	※夕方にもフィルライトが常時点灯する場合、フィルライトモードを「昼間」
	に設定することで解消されます。
ホワイトバランス	ホワイトバランス(自動/手動)、レッドゲイン、グリーンゲイン、ブルーゲイン、
	の調整が可能です。
ビデオ調整	デジタルノイズリダクション(DNR)モードの切り替えの調整が可能です。
	調整範囲:自動/2D DNR/3D DNR/2D DNR と 3D DNR
画像	フリッカーコントロール(PAL,NTSC)、WDR(ワイドダイナミックレンジ)の
エンハンスメント	調整が可能です。
	フリッカー(ランプ点滅)モードは、IP カメラの設置環境とフリッカー規格に
	従って選択できます。のデフォルト設定は PAL(50HZ)です。
	WDR(ワイドダイナミックレンジ)では、ワイドダイナミック強度を切り替える
	ことができます(自動、低、中、高、最強)※デフォルトでオフになっていま
	す。IP カメラによって設定メニューが異なります。
ディフォグ	ディフォグ(Defog)モードのオン/オフの調整可能です。デフォルトはオフ



	になっております。設定範囲は 0~255 です。
歪み調整	画面の歪みレベルを調整できます。デフォルトはオフになっております。設
	定範囲は0~255です。
画像回転	ミラーリング(オフ/水平/垂直/水平と垂直)と、コリドーモード(オフ/90 度
Почета	回転/270 度回転)の調整が可能です。デフォルトはオフになっております。
	ミラーリングモードをオンにすると、プレビュー画面が 180 度回転して表示 されます。
	※ドーム型 IP カメラで天井付けの場合によく使用されます。
	コリドーモードをオンにすると、プレビュー画面を 90 度と 270 度の回転 を選択できます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

6.6.20SD



項目名	説明
時間	チェックを入れると、プレビュー画面に時間情報が表示されます。
OSD テキスト	チェックを入れると、プレビュー画面に表示するテキスト内容を編集できます。
日付形式	プレビュー画面に表示する日付の形式を選択できます。
OSD 表示位置	日付情報と OSD テキスト内容の表示位置を指定できます。(左上/左下)
OSD 入力内容	OSD テキスト内容をカスタマイズできます。(入力例:DataScope)
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



6.7 イベント

6.7.1 一般イベント

「イベント」では、「一般イベント」と「スマートイベント」で構成されております。

また、一般イベントには「動体検出/プライバシー/遮断検出/アラーム入力/アラーム出力/異常検出/ROI」があり、スマートイベントには「スマート検出/エリア侵入検知/クロスライン検出/うろつき検知/密集検知」があります。

【動体検出】-【エリア設定】

動体検出とは、一定時間内、特定エリアに動いている物体があるかどうかを検出する機能です。画面内において動いている物体を検出された場合、IPカメラは事前に設定された条件に従ってイベント通知をし発します。



項目名	説明
有効にする	動体検出機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、プレビュー画面全体に赤色のチェックラインが表示されます。 画面全体を検出エリアとします。
	また、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
感度	検出する感度を設定できます。設定範囲は0~10 です。
	値が大きいほど、検出しやすくなります。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【動体検出】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間動体検出モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の が点滅します。



【動体検出】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【プライバシー】-【エリア設定】

プライバシーとは、プライバシー保護機能であり、プレビュー画面内に表示させたくないエリアをブロックすることができます。

設定方法:

画面左側のプレビュー画面にて、マウス左ボタンをクリックしたままエリアを指定することができます。 エリアは最大 3 つまで設定できます。最後に「保存」することで、プライバシー設定を完了します。



【遮断検出】-【エリア設定】

遮断検出とは、プレビュー画面内で指定したエリアが何らかの要因、または人的要因等により遮断され、 正常に監視できない場合に発生する警報のことです。イベントが発生した場合に、素早く遮断原因を 特定し、監視画面を元の状態に戻すことができます。





項目名	説明
有効にする	遮断検出機能をオン/オフできます。
エリアを設定	クリックすると、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
感度	検出する感度を設定できます。設定範囲は0~2です。値が大きいほど、検出しやすくなります。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

【遮断検出】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間動体検出モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【補足説明】:

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の の が点滅します。

【遮断検出】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【アラーム入力 】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
	※設定する前に、IP カメラをアラーム入力デバイスに接続する必要がありま
	す。アラーム入力を設定することにより、アラーム入力デバイスが受信したア
	ラーム信号を IP カメラが受け取りさらに処理することができます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間アーミングスケジュールが適用されま
	ुं के उ
	また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン
	グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。



【アラーム入力】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【アラーム出力】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
	※設定する前に、IP カメラをアラーム出力デバイスに接続する必要がありま
	す。アラーム入力を設定することにより、IP カメラのアラーム信号をアラーム
	出力デバイスに送信できます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間アーミングスケジュールが適用されま
	す。
	また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン
	グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
手動アラーム	アラーム出力インターフェースに接続されているアラーム出力デバイスを手動
	で制御し、連動アラームを発します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。



【異常検出】

異常検出には「ネットワーク接続異常」と「IP アドレスの競合」で2つのタイプで構成されております。 IP カメラに上記二つの状況が発生する場合、IP カメラは自動的に異常検出イベントを発します。連動方法には IO 出力/フィルライト点滅があります。

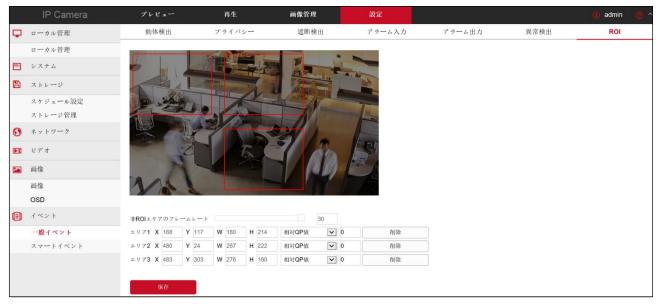


[ROI]

ROI とは、関心エリア設定のことです。ユーザーはプレビュー画面内で最も注目するエリアを設定できます。IP カメラがビデオエンコーディングを実行する際に、ユーザーが設定したエリアのビデオ画質と、エンコーディングをが向上します。ただ、設定エリアの画像クオリティを強調するために、他のエリアのクオリティがが低下します。

設定方法:

画面左側のプレビュー画面にて、マウス左ボタンをクリックしたままエリアを指定することができます。 エリアは最大 3 つまで設定できます。最後に「保存」することで、ROI 設定を完了します。





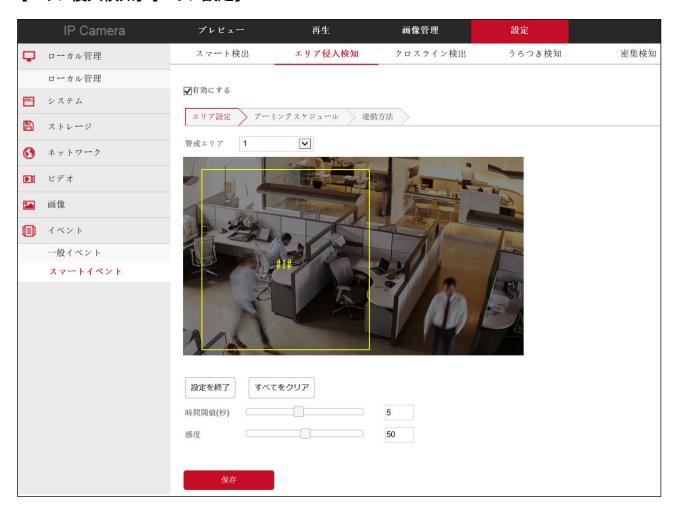
<u>6.7.2 スマートイベント</u> 【動体検出】-【エリア設定】



項目名	説明
検出モード【オフ】	スマート検出モードをオフにできます。
検出モード【顔検 出】	スマート検出モードを【顔検出】に設定が可能です。 すべての検出は顔を基準に行われます。※顔検出のみ、認証はしません。
検出モード【シルエット検出】	スマート検出モードを【シルエット検出】に設定が可能です。 すべての検出はシルエットを基準に行われます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【エリア侵入検知】-【エリア設定】



項目名	説明
有効にする	エリア侵入検出機能をオン/オフできます。
エリアを設定	クリックすると、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。警報エリアを予め4つまで設定でき、切り替えで使用することができます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
時間閾値(秒)	ターゲットがエリア内に侵入し、何秒滞在したら警報するかを設定できます。 設定範囲は 1~10 です。デフォルトは 5 秒です。
感度	検出する感度を設定できます。設定範囲は0~100です。値が大きいほど、 検出しやすくなります。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【エリア侵入検知】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間エリア侵入検出モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の が点滅します。



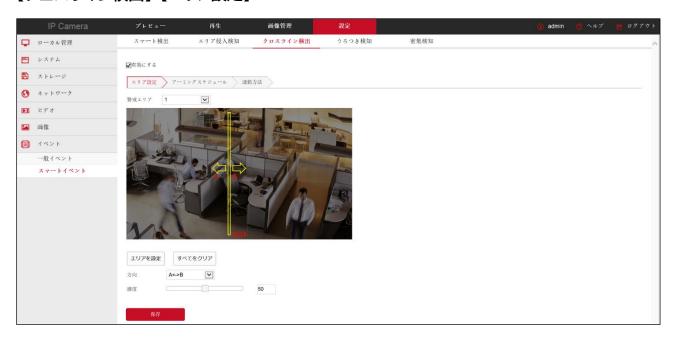
【エリア侵入検知】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【クロスライン検出】-【エリア設定】



項目名	説明
有効にする	クロスライン検出機能をオン/オフできます。
エリアを設定	クリックすると、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。警報エリアを予め4つまで設定でき、切り替えで使用することができます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
方向	クロスライン検出方向を設定できます。A からB/Bから A/A とBの間で設定ができます。
感度	検出する感度を設定できます。設定範囲は0~100です。値が大きいほど、検出しやすくなります。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【クロスライン検出】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間クロスライン検出モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の が点滅します。



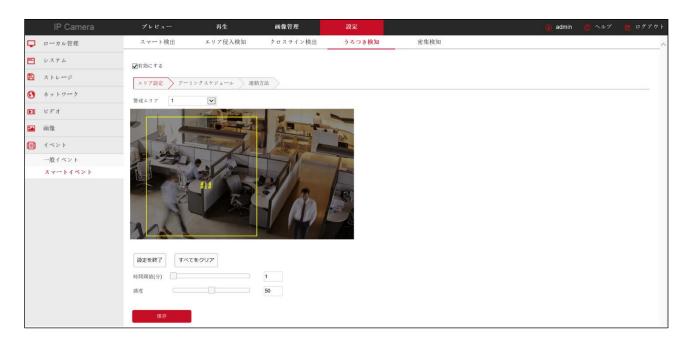
【クロスライン検出】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【うろつき検知】-【エリア設定】



項目名	説明
有効にする	うろつき検知機能をオン/オフできます。
エリアを設定	クリックすると、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。警報エリアを予め4つまで設定でき、切り替えで使用することができます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
時間閾値(秒)	ターゲットがエリア内に侵入し、何秒滞在したら警報するかを設定できます。 設定範囲は 1~10 です。デフォルトは 5 秒です。
感度	検出する感度を設定できます。設定範囲は0~100です。値が大きいほど、検出しやすくなります。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【うろつき検知】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間うろつき検知モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の が点滅します。



【うろつき検知】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【密集検知】-【エリア設定】



項目名	説明
有効にする	密集検知機能をオン/オフできます。
エリアを設定	クリックすると、マウス左ボタンを押したままで、プレビュー画面内に検出エリアを指定できます。警報エリアを予め4つまで設定でき、切り替えで使用することができます。
すべてをクリア	クリックすると、すべての検出エリアが解除されます。
割合	指定エリアの何パーセント占めているいるかによって密集度合いを検知します。設定範囲は 1~100%です。デフォルトは 50%です。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。



【密集検知】-【アーミングスケジュール】



項目名	説明
有効にする	アーミングスケジュール設定機能をオン/オフできます。
すべてを選択	クリックすると、全ての曜日に 24 時間密集検知モードが適用されます。 また、時間軸からマウス左ボタンをドラッグすることで、曜日ごとにアーミン グスケジュールを編集できます。
すべてをクリア	クリックすると、全ての曜日からアーミングスケジュールが解除されます。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。

- 編集した一日のスケジュールは、時間軸の後ろの 6 ボタンをクリックして、他の曜日にも一括 同期することも可能です。
- アーミングスケジュールを設定する場合、2 つの時間帯が重なることはできません。
- 同じ時間軸にて複数の時間帯を設定でき、最大8つの時間帯を設定できます。
- イベントが検出されると、プレビュー画面の右上に赤色の の が点滅します。



【密集検知】-【連動方法】



項目名	説明
有効にする	イベント連動警報機能をオン/オフできます。
SMTP をアップロ	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が SMTP 受信者メールボ
ード	ックスに送信されます。(※事前に SMTP 情報設定が必要です。)
FTP をアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報が FTP サーバーに送信さ
۴	れます。(※事前に FTP 情報設定が必要です。)
クラウドアップロー	チェックを入れると、イベント発生時にイベント情報がクラウドストレージにに
۴	送信されます。(※事前にクラウドストレージ情報設定が必要です。)
アラーム出力	チェックを入れると、イベント発生時に IP カメラは外部アラーム出力デバイス
	と連動して警報通知を行います。
フィルライト点滅	チェックを入れると、イベント発生時にIPカメラのフィルライトが点滅します。
保存	設定内容を確定し、変更を反映させます。